

田中 万理 TANAKA Mari 水曜 3 時限 対面授業 開講言語 (English)

I. 研究分野

開発経済学 (労働・企業行動に関するもの)、労働経済学 (企業行動に関するもの)

II. 研究分野 (英語表記)

Development Economics (Labor/Firm), Labor Economics (Firm)

III. 修士課程学生の履修要件

- ・研究課題が私自身指導可能であること。
- ・研究者養成コースは上級マイクロ経済学と上級計量経済学、修士専修コースは中級マイクロ経済学と中級計量経済学 (中級レベルを上級レベルで代替することは可) を M1 の時に履修すること。
- ・研究トピックは開発経済学か労働経済学 (企業行動に関するもの) に限る。
- ・Stata で実証分析ができること。
- ・自分の研究したいトピックにおける講義履修状況を参考にします。

IV. 選考期間および方法

2026 年度は、(東大・一橋のクロスアポイントメント制度により) 東京大学を主要な勤務先とするため、一橋での新規ゼミ生はほとんど受け入れない方針ではあるが、状況・テーマによっては若干名は受け入れ可。強く入ゼミを希望する新修士 2 年以上は 2026 年 2、3 月中にメールで連絡し相談すること。新修士 1 年は募集しない。

V. 指導方針

研究したいテーマの重要文献を報告してもらったり、研究の進捗の報告をしてもらいながら研究指導を進めていきます。

VI. 博士後期課程学生の履修要件

上級マイクロ経済学、上級計量経済学において B 以上の成績。

VII. 共同開講者に関するメモ

VIII. 詳細リンク先 URL